

<家族の声・声>

「大変喜んでます！！」

令和2年6月から「西町の郷」で、母がお世話になっています。以前から「一回行ってみーだが！」と言っていたのですが、「いやー、恥ずかしいけん！知らん人ばっかだし・・・！」と本人は渋っていました。施設長の林原さんが直に家にお誘いに来て「西町の郷」の様子を話していただき、何とか行く事になりました。いざ行って見ると、楽しいようで、以来、毎回行っています。送迎もしていただき大変喜んでます。本人も家に1人でのよりは、話し相手がいって良かったと思います。これからもよろしくお願ひします。

高塚 章一(2-2)



七夕の飾り付けの準備中ですね



元気に皆でいきいき100歳体操中

「西町の郷事業への感謝を込めて」

日頃は「西町の郷」で母がお世話になり、関係者の皆様に感謝申し上げます。母も94歳になり足腰や視力の衰えや物忘れが増え、一人での日常生活の維持が困難になってきました。私は大阪在住ですが家内の理解を得て、これまでの数年間、母の日常生活支援の為、大阪と南部町を行き来してきました。

しかしコロナの影響で、3月以降、大阪との行き来は全て自粛し、母との二人生活を継続中です。この環境の中で母にとっては、外部の方との接触機会がある事は通院と共にとても貴重な時間になっています。私も自由な時間を与えて頂くことになり、気分転換の大切な時間となっています。今後ともよろしくお願ひします。

宇山 徹(1-4)

(宇山さんには、9月から送迎ボランティアとしてお世話になっています)



七夕の飾り付けの完成までもう少し！！



足元に気を付けて！！送迎ボランティアが声を掛けます。現在、送迎ボランティアの方は13名です。



朝、来所したらまず体温・血圧測定から始まります。看護師資格のある方が週一確認されます。そしてその結果は、食事内容と共にまとめて家族に報告されます。



東西町コミュニティホーム 「西町の郷」便り

東西町地域振興協議会
住所 鳥取県・南部町東町六二番地
電話 〇八五九一六六一四七二四

東西町「コミュニティホーム「西町の郷」」
住所 鳥取県・南部町西町一四三番地

「お蔭さまで開設から丸7年！」
歳を重ねても地域で住み続けられる仕組みとして開設しました「西町の郷」が、開設してから丸7年が過ぎました。これまでに30名もの利用登録があり、現在7名の方が週3回の利用を頂いています。サポートスタッフ・送迎ボランティアの方々のお力添えと空き家を提供いただきました渡辺貞之様を始めとして、地域の方のご協力に心から感謝申し上げます。

併せて、県の立ち上げ補助金の終了後は、運営助成金を予算化して頂いています町及び議会の皆様に感謝申し上げます。開設以来、全国から延べ873名の方が視察にお見えになりました。まさに、住民による地域生活支援のモデルとなっております。

新型コロナウイルスの発生により3月から数カ月閉所という事態になりました。これによる利用者の歩行困難などの体調悪化が心配でしたが、閉所中にも昼食の配布や様子伺いなどのお蔭でしようか、ここにきて従来と同じ元気なお顔を拝見しています。

以前にも増して来所時や利用時間内の体調チェック、消毒、換気を行い、安心してご利用出来るようにスタッフの皆さんと一緒に努めてまいりたいと思っております。

今後とも皆様の温かいご支援とご指導を賜りますよう、お願ひ申し上げます。

事業統括管理者 原 和正

東西町コミュニティホーム「西町の郷」利用者募集要項

住み慣れた地域で暮らし続けたいと、誰もが願っていることではないでしょうか？ご家庭での暮らしと同じような安心スペース(居場所)として利用していただける施設です。

開設日：月・水・金
時間：10：00～16：00(通常)
送迎及び昼食：可
登録料3,000円/年、利用料300円/日(昼食材料費代(300円)及び送迎負担金(100円)別途です)
対象者：東西町にお住まいの方で要介護2程度までの方
「サポートスタッフ・送迎ボランティア」も募集しています

<利用者さんの声>

「西町の郷」はとても楽しいです」

今年の6月3日から来所しています。ちょうどその日はちまきづくりの日だったので、何年ぶりに巻き、忘れていたので、教えてもらいながら楽しく巻きました。自分で巻いて食べて、とってもおいしかったです。お昼ご飯はみんなと一緒に食べるのでとても美味しい。おしゃべりしながら食器拭きをして、食後のコーヒーを飲んで過ごします。自分は手先のことは得意ではないが、七夕祭りの提灯を作ったり、クリスマスのリースを覚えてもらい出来ました。

身体を動かすことは好きなので、100歳体操、笑いヨガ、脳トレは好きです。誕生会のケーキ、餃子も初めて作りました。とても楽しく通っています。

高塚知方子 (2-2)

「皆さんと一緒にいる幸せ！！」

普段は一人で家にいるのですが、ここに来るとみんなとワイワイガヤガヤ・・・楽しいです。出来るだけ調理を手伝っています。

長谷川礼子 (1-2)

「感謝・感謝です」

4年前から来所しています。最初は歩いてきていましたが、辛くなり直ぐ近くですが送迎をしていただいています。大変気を使っていただき感謝感謝です。

山本 春枝 (1-2)



本巻のちまきづくり



自分たちで作ったケーキは殊更美味しい！！



誕生日のある方の月は手作りケーキでお祝いします



食事後の食器の拭きも皆でやっています



皆で昼食の盛り付け中です！！



トランプゲームは勿論バ〇抜き？

<サポートスタッフの声>

「コロナ対策をして再開中です」

新型コロナウイルスで3月～5月の間は完全閉所となりました。6月～8月は月数回の開所となっていました。特に皆さんが楽しみにしておられた、七夕祭りのスイカ割り直前で中止になり残念でした。「西町の郷」は高齢者の昼間の居場所です。自分の得意な事をしたり、仲間に教えたり、教わったりして一日過ごす所です。調理の好きな人は調理して、苦手な方は配膳をし、片づけも一緒にします。花見の時期はお弁当を作って庭で食べます。菓子をみんなで作って食べることもあります。誕生会は皆でケーキを作ってお祝いします。

バイタルチェック（体温、血圧測定）をして、体調を把握しています。午後の時間は生け花教室、100歳体操、笑いヨガ、小物づくり（今はクリスマスのリース作り）行っています。

消毒、換気を徹底してコロナ対策も行っています。どうぞ沢山の方々のご利用をお待ちしています。

施設長 林原 幸子 (1-4)

「あふれる 笑顔！！」

「西町の郷」は義母の大好きな場所でした。帰宅すると楽しかった様子を嬉しそうに話してくれたことを思い出します。時には体調がすぐれず「行きたくない」と言っては施設の方に親切に誘っていただいたことや、季節行事として作っていただいた昼食が「良かった～」と言って話が止まらず・・・。

あの内気の義母の変化にはいつも驚かされたものでした。その義母が昨年2月に亡くなり、大変お世話になった「西町の郷」に対して少しでもお役に立ちたいと考え、月1回の昼食づくりのお手伝いをさせていただいています。

加納 節子 (1-6)

「皆さんとの出会いに感謝」

食事は食べる方が好きなのに、何故か作り手としてお手伝いをしています。

それは食事をご一緒したり、又、折々の（失礼ながら）お婆ちゃんの知恵袋のお話がとても楽しみです（私は知恵なし婆を自認）もちろん施設長をはじめご一緒するスタッフの皆さんが穏やかで、心地よい場所であるは言うまでもありません。回数は少ないですが皆様との出会いに感謝しつつ、「西町の郷」のご繁栄を願って通います。

高林 敏美 (1-3)



ハロウィン日での午後のおやつ作り

